

8. 人的な事業推進体制の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」（協会=Association から作った造語）と呼んでおり、2014 年度も、ボランティア（のべ169人、実数127人）と有給専従スタッフ（事務局員16人）が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」「財務・基金運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体合宿（11月の「一泊創出会議」、1月の「事業計画会議」）を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

1. 会員の拡大

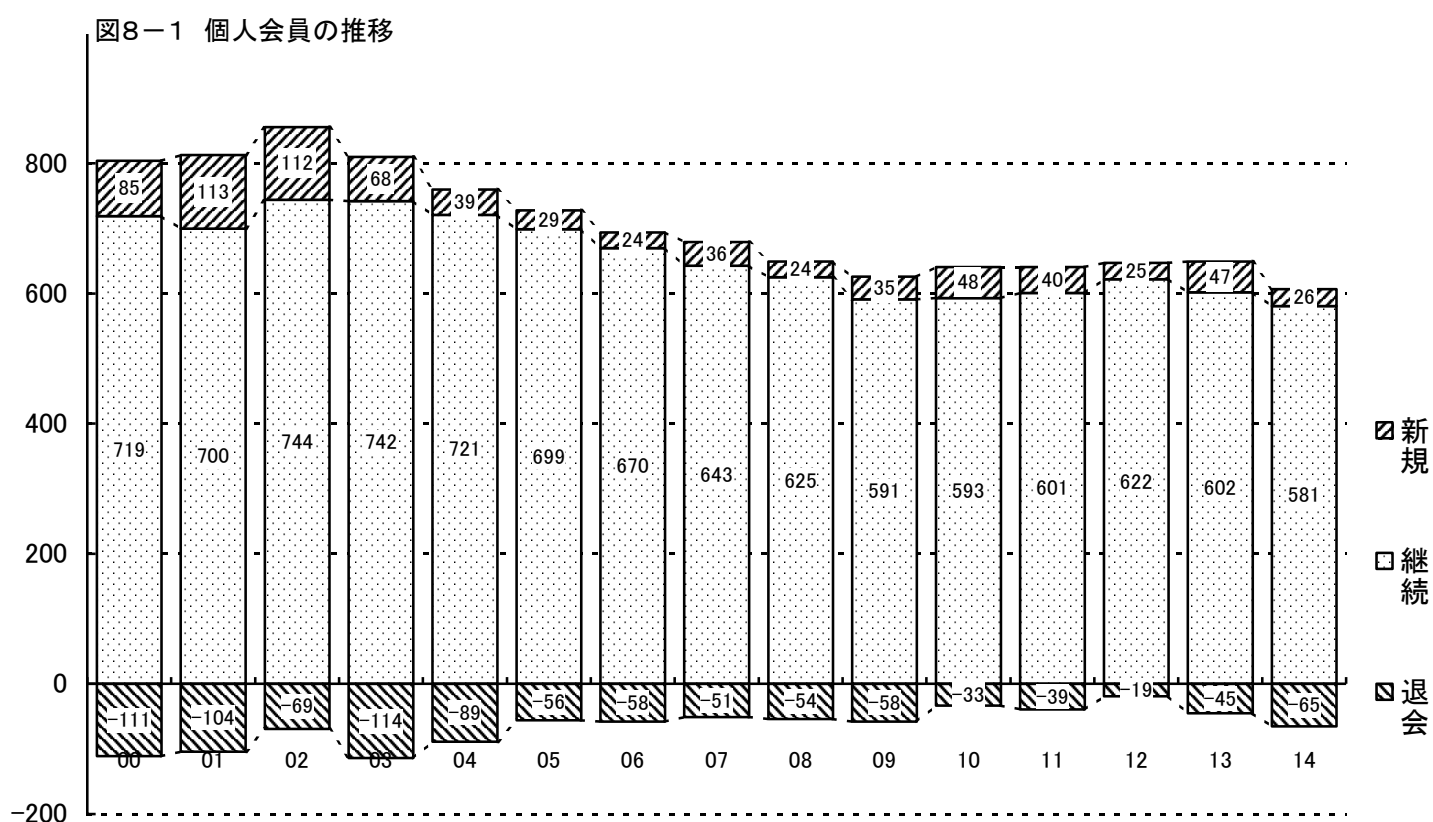
(1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。2013 年度に新たに創設した個人賛助会員は、新規入会1人、個人会員からの変更4人で計8人となった。新規入会は、個人会員・個人賛助会員あわせて27人で昨年度比20人減となり、数年に渡って会費納入がない定款退会者が34人だったこともあり、会員総数は前年より34人減となった。一方、団体賛助会員（企業）では、会員の継続が困難な状態が続いており、1社が退会した。なお特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている（財）皓養社・前理事長 中納久昭氏である。〔下表で（）内は昨年度実績〕

表8-1 2014年度の会員の異動状況（カッコ内は前年同期実績）

	2014年4月	新規加入	退会	2015年3月
特別会員	1人	0人	0人	1人
個人会員	646 (647)人	26 (44)人	65 (45)人	607 (646)人
（内、生涯会員）	24人	0人	1人	23人
個人賛助会員	3 (0)人	5 (3)人	0人	8 (3)人
団体賛助会員（企業）	51 (51)社	0 (0)社	1 (0)社	50 (51)社
団体賛助会員（非営利）	10 (11)社	0 (0)社	0 (0)社	10 (10)社
合計	711 (710)	31 (47)	66 (48)	676 (709)

※個人会員から個人賛助会員への変更4人は、個人会員退会・個人賛助会員新規加入として計上している。



(2) 会員拡大に向けた努力

①. 会員限定通信誌『キャンバス・ニュース』の内容

市民活動スクエア「CANVAS谷町」と大阪ボランティア協会の「今日」をお届けするマガジンとしてリニューアルした「キャンバス・ニュース」を会員に隔月で送付した。

4・5月号	CANVASエピソード／事業計画報告／3.11fromKANSAI報告／協力感謝／新刊紹介
6・7月号	定期会員総会報告／事務局新体制紹介／たにまちっく／CANVASエピソード／協力感謝／ボラ協らしい1枚投稿企画（ウォロ発送準備）
8・9月号	第40期ボランティアコーディネーター養成講座報告／第一四半期報告（JVCC2015in大阪実行委員会始動・第1回「おおさか災害支援ネットワーク」・ウォロリニューアル・ウメキタ朝ガク）たにまちっく／CANVAS谷町活用方法紹介／協力感謝／アソシエーター新人研修
10・11月号	CANVAS意見交換会／50周年思い出クイズ／たにまちっく／協力感謝／はじめてのボランティア講座
12・1月号	50周年記念クイズ／災害・防災の取組み／リンクアップフォーラム初合宿報告／大阪市レベルアップ講座アソシエーターとの企画づくり／CANVASエピソード／協力感謝／参加システムワーキング
2・3月号	CANVAS谷町年末大そうじ大会／一泊創出会議報告／1年振り返り／CANVASエピソード／協力感謝／大忘年会／ボランティア川柳募集

②. 寄付および会費自動納入システムの運営

クレジットカード・オンラインシステム、近畿労働金庫、郵便貯金から寄付や会費の引き落としが可能な態勢を整えている。14年度末の利用会員は、近畿労働金庫：3人、郵便貯金：27人、クレジット：38人である。

2. 組織活動

(1) 理事会（第67～69回）の開催

【第67回】開催日：2014年5月26日（木）、出席理事：15人（書面出席6人）

議案：①2013年度事業報告（案）および決算報告（案）、②2014年度補正予算（案）と事業計画、③理事・評議員の一部改選（案）

【第68回】開催日：2014年11月17日（月）、出席理事：15人（書面出席5人）

議案：①2014年度上半期事業報告および上半期収支報告、②2014年度下半期事業計画（案）および第二次補正予算（案）、③参与の委嘱、④評議員の一部改選（案）

【第69回】開催日：2015年2月23日（月）、出席理事：13人（書面出席5人）

議案：①2015年度事業計画（案）および予算（案）、②理事長専決事項等に関する規定、③定款の変更

(2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

(3) 評議員会（第64～66回）の開催

【第64回】開催日：2014年5月26日（木）、出席者：21人、欠席者：10人

議案：第67回理事会①～③に付した議案

【第65回】開催日：2014年11月17日（月）、出席者：21人、欠席者：10人

議案：第68回理事会①～④に付した議案

【第66回】開催日：2014年2月23日（月）、出席者：16人、欠席者：15人

議案：第69回理事会①～③に付した議案

(4) 監事会の開催

開催日：2014年5月8日(木)、出席監事：3人

内容：「2013年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

(5) 会員総会(2014年度定期総会)の開催

開催日：2014年5月25日(土)

会場：市民活動スクエア「CANVAS谷町」大会議室

出席：227人(当日参加41人+委任状提出186人)

内容：第1部＝記念講演会「ホームレス支援の現場から…新たな関係の“つなぎ役”として市民活動が果たす次の役割」講師：後藤浩二氏(スープの会・世話人)／第2部＝①アソシエーター委嘱状交付、常任紹介、②2013年度事業と決算報告(案)、③2014年度事業と予算計画(案)／第3部＝会員懇親会

3. 協会創立50周年記念事業

大阪ボランティア協会は、1965年11月7日に設立総会を開催し、以後50年間にわたって市民活動の推進に取り組んできた。2015年度に迎える50周年に向けて、記念式典の開催準備や50年史の製作など、準備に取り組んだ。

(1) 記念式典準備

2014年11月7日に第1回実行委員会を開催。会場の下見、企画の概要、スケジュールなどを確認した。11月23-24日の創出会議、2015年1月31日-2月1日の事業計画会議でも、式典企画や記念品などについてアイデアを出した。11人参加。

(2) 「50年史」製作準備

50周年記念式典にあわせて「50年史」を発行するべく「50年史製作プロジェクト委員会」を立ち上げ、2014年9月より検討を開始した。また50年史に、協会に関わった様々な人の声を掲載して内容を充実させるため、2015年3月28日に主に1960～70年代に協会で活動した人を対象として「協会50周年に向けて～あの出会いを分かち合う同窓会」を開催し、19名が参加した。



4. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チームなどの組織数)と、参加するボランティアののべ人数)を図8-2に示す。

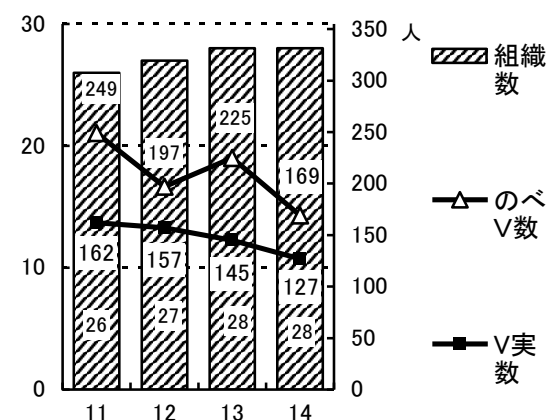
13年度に実施した事業総点検を受けて、4つのチーム等が活動を終息させることとなり、アソシエーターのべ223人(昨年度296人)[うち、ボランティアのべ169人(同225人)]、実数127人(同145人)とそれぞれ減少した。次年度以降、更なる人材発掘・育成が必要である。

(1) 一泊創出会議、事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の合宿を開催した。「創出会議」では、長期的な視野に立って協会の事業戦略を検討する。「事業計画会議」では、チーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた14年度の取り組みに対する評価と、15年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図っている。このように協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

- ・一泊創出会議：2014年11月23日(日)～24日(月祝)、26人参加、場所は大阪国際ユースホテル。【第1部】将来ビジョン再考-人材育成、【第2部】協会の法人のあり方を考える、【第3部】50周年当日イベントについて、【第4部】50周年事業アイデアを深める～ポスト50周年を見据えながら
- ・事業計画会議：2015年1月31日(土)～2月1日(日)、35人参加、場所は長居ユースホテル。センター別にまとめて各チーム・委員会のプレゼンテーションおよび50周年記念事業・新規事業戦略についてプレゼンテーションを行い、意見交換を行った。

図8-2 事業への市民参加



(2) 常任運営委員会 (委員長 延岡 敏也、委員V16人、職員4人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。2014年度は、6月・11月は休会、なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加している。(定例日 原則第4火曜、19時～21時、CANVAS谷町)

＜委員＞ 延岡敏也(委員長、14年度まで)、井上小太郎、今村澄子(以上、副委員長)、上林康典(15年度から委員長)、岡本友二、楠正吉、久保友美、谷水美香、筒井のり子、名賀 亨、西 誠、西江孝枝、早瀬 昇、藤原麻佐代、村岡正司、森本聡、水谷 綾、永井美佳、岡村こず恵、影浦弘司

＜主な協議内容＞ 事業総点検の総括、定期総会の持ち方・振り返り、主要会議の持ち方と今後に参加システムワーキング議論の発展、創立50周年後に向けたビジョン検討組織の創設、創出会議の方向性の確認と議長団の選出、50周年関連のタスクに関する段取りの再確認、協会の防災・災害支援戦略に関する答申、将来ビジョン再考の事業立案の進め方、協会の法人のあり方を考える、50周年に向けた動きとその態勢、50年史の構成、役員改選と次年度の役員構成、職員採用の公募案、CANVASの料金改定、事業計画会議の進め方、研修チーム(仮称)の発足、新法人のあり方、子どもホスピスのVCO企画受託に関する相談、総会記念講演会講師の候補選出、常任運営委員長の交代、大阪市VCO事業のコンペ開始と概要、広報戦略委員会の休止と今後のウェブ改革のあり方と新体制、ビジョン策定委員会の設置と進め方、50周年関連事業ライブラリーチームから提案、役員改選について

(3) 財務・基金運営委員会 (委員 V3人+職員2人)

これまで十分にできていなかった財務分析や収益事業の検討等を行うため2014年度より再編。評議員である日本NPOセンターの田尻佳史氏を委員に迎え、年4回開催した。

＜ボランティア委員＞ 田尻佳史、早瀬 昇、牧里每治

＜事務局委員＞水谷 綾、永井美佳

＜主な協議内容＞ 決算(四半期毎)・補正予算・月次収支の確認、財政強化のための具体的方策、基金や積立金の運用にかかる定期預金や公社債の管理

(4) 法人コミュニケーションチーム (委員 V5人+職員3人)

団体賛助会員・非営利会員とのコミュニケーションを強化し、関係の維持・拡大を目指すため、財務・基金運営委員会から分離して新たに設置。年3回開催した。

＜ボランティア委員＞ 井上小太郎、関口 義弘、早瀬 昇、平手清、森田正紀

＜事務局委員＞水谷 綾、永井 美佳、江渕桂子

＜主な協議内容＞団体賛助会員・非営利会員の訪問分担、コミュニケーション強化の方策検討など

(5) 広報戦略委員会 (委員長・西誠、他V5人+職員3人)

常任運営委員会の部会として、広報戦略や執行管理を検討するために設置。合計年6回開催。WEB戦略の検討主体に切り替えていくため、15年度で委員会は終了することになった。

＜ボランティア委員＞磯野奈緒、大谷隆、西誠、延岡敏也、森本聡

＜事務局委員＞水谷 綾、影浦弘司、梅田純平

＜主な協議内容＞既存の協会メディアの現状と課題、各メディアの特長分析、協会のメディア戦略策定など

(6) ボランティア・NPO推進センター運営委員会 (委員長・今村澄子、他V9人+職員10人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。(隔月程度で不定期)

＜委員＞今村澄子(委員長)、石井祐理子、磯野奈緒、岩本裕子、川畑恵子、杉浦 健、筒井のり子、谷水美香、西 誠、南多恵子、村岡正司

＜主な協議内容＞VNC事業の骨格と方向性、拠点の支援メニューなど

・コーディネーション部会 (委員 V7人+職員5人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。主としてコーディネーション事業の戦略を検討したり、事業の進捗管理、評価等を担う。

＜ボランティア委員＞石井祐理子、今村澄子、岩本裕子、谷水美香、筒井のり子、西誠、南多恵子

(7) 企業市民活動推進センター運営委員会 (委員長・井上小太郎、V7+職員2人)

企業市民活動の推進を図るため、企業市民活動推進センター(CCC)の戦略と事業全般の企画立案、推進、評

価を行うために設置。14年度は、年5回の運営委員会を開催。

＜ボランティア委員＞井上小太郎(委員長)、江本雅朗、尾崎 力、楠 正吉、小林義彦、原田京子、平瀬有香

＜主な協議内容＞14年度のCCC事業の進捗確認、協会ポスト50年を見据えた人材育成事業の検討、14年度の事業評価と15年度計画など

(8) 災害支援委員会(委員長・楠正吉、他V2人+職員2人)

大地震や異常気象による災害が予想される中、協会としてどう備え、どう対応するかを考える部門として、「災害支援委員会」を9月に新設。14年度は委員会を5回、ワーキングを4回開催した。

＜ボランティア委員＞楠 正吉(委員長)、西 誠、森本 聡 ※ワーキングは関心のある人に呼びかけて開催。

＜主な協議内容＞「災害・防災基本方針」をもとに各事業のロードマップを作成、災害時に迅速に動けるボランティアチームの組織化準備、災害時の協会のBCP(事業継続計画)のあり方検討など

(9) ボランティアリズム研究所運営委員会(委員長・岡本仁宏、他V9人+職員2人)

研究誌『ボランティアリズム研究』の在り方や「市民セクターの次の10年を考える研究会」について主に協議。14年度は7回開催した。

＜ボランティア委員＞所長：岡本榮一、委員長：岡本仁宏、井上小太郎、柏木宏、工藤宏司、久保友美、牧口明、守本友美、早瀬昇

＜主な協議内容＞研究誌『ボランティアリズム研究』の在り方／「市民セクターの次の10年を考える研究会」の企画／『日本ボランティア・NPO／市民活動年表』についてなど

(10) チーム・専門委員会などの活動

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

A. 推進チーム(6チーム、ボランティアのべ65人)

- ①. 裁判員ACTチーム(チーフ・磯野太郎、16+1人。月1回)
- ②. ボランティアスタイルチーム(チーフ・森本 聡、27+1人。月2回)
- ③. 「ウォロ」発送チーム(チーフを決めず、9+1人。年6回)
- ④. ITボランティアチーム「むくどり」(チーフ・芝原悦郎、4+1人。年2回)
- ⑤. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム(チーフ・久保友美、4+1人。隔月1回)
- ⑥. CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」(チーフを決めず、5+1人。月1回)

B. ワーキングチーム(4チーム、ボランティアのべ21人)

- ①. 将来ビジョンワーキング(チーフを決めず、4+4人。随時)
- ②. 災害・防災戦略ワーキング(座長・楠 正吉、6+4人。8月迄に5回)
- ③. 参加システムワーキング(チーフを決めず、4+5人。随時)
- ④. NPO講座系ワーキング(チーフを決めず、7+3人。随時)

C. 専門委員会(9委員会、ボランティアのべ78人)

- ①. 「ウォロ」編集委員会(委員長・増田宏之、26+2人。月1回)
- ②. 「CANVAS NEWS」編集委員会(委員長・西江孝枝、7+1人。隔月1回)
- ③. 「多文化共生事業委員会」「VNC・多文化共生事業総括会議」(委員長を決めず、4+1人。年5回)
- ④. 「日本語でつたえるコツ」広げる委員会(委員長を決めず、8+1人。隔月1回)
- ⑤. フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム幹事会(委員長を決めず、9+2人。隔月1回)
- ⑥. CRM(コーズリレーテッドマーケティング)研究会(座長・楠 正吉、9人+1人。年4回)
- ⑦. アソシエーター活性化委員会(委員長・上林康典、3+1人。随時)
- ⑧. 50周年記念式典実行委員会(委員長・井上小太郎、6+5人。随時)
- ⑨. 50年史製作プロジェクト委員会(委員長を決めず、6+2人。随時)

5. 事務局体制の充実

(1) 職員研修の実施

開催日：2014年7月23日(水) 会場：CANVAS谷町 参加者：職員10人
内容：第1部＝担当事業の現状評価と今年度末の目標
第2部＝協会のボランティアとの協働を考える

(2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局次長、事務局主幹の4人で、随時開催。事務局体制の検討や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。

(3) 2014年度の事務局体制

2014年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員10人、非常勤職員6人であり、雇用形態別では正職員7人、嘱託職員3人、アルバイト6人であった(年度途中の退職者・入職者を含む。以下、敬称略)。

※ ボランティアをV、企業市民活動推進センターをCCCと略記

早瀬 昇(常務理事)

【正職員】水谷 綾(事務局長；全事業統括、総務、人事、渉外、常任運営委、VNC委、NPO支援、研究所運営委員会等)、永井美佳(事務局次長；CCC、大日本住友製薬社員VCO、災害支援委員会、多文化共生事業、法人会員、総務等)、岡村こず恵(事務局主幹；Vコーディネーション、労務等)、影浦弘司(事務局主幹；ウォロ、積水助成等)、江渕桂子(講師派遣、阪急阪神助成、役員会、法人事務等)、梅田純平(団体支援、市NPO講座、SAVEJAPANプロジェクト、IT管理等)、金治宏(CANVAS、会員等)

【嘱託職員】塩谷邦子(経理、社会保険等)、佐藤璃菜(7月迄：CANVAS等)、椋木美緒(Vコーディネーション、KVネット、ACT等)

【アルバイト】山下輝夫(CANVAS窓口)、岡村豊子(出版販売、庶務等)、山本佳史(3月迄：CANVAS窓口)、松尾里香(CANVAS窓口、KVネット等)、大谷隆(3月迄：JVCC運営補助)、吉國ふみ枝(3月迄：JVCC運営補助)

【ボランティア】

[事務局支援(新聞切抜支援)] 平手清

[ウォロ] 元・久の会、トミの会、岸田和弘、中野伊津子、福満奈都、吉中広子(以上、『ウォロ』の発送支援)。

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。